

株式会社ファイブイズホーム



代表取締役
細井保雄さん

【事業所概要】

- 所在地 本社 埼玉県行田市持田 3-2-17
- 従業員数 390名
- 2019年に健康企業宣言「健康優良企業」及び「埼玉県健康経営実践事業所」認定
- 2020年より3年連続「健康経営優良法人（中小規模法人部門）」認定

▶当社の経営理念は“5方よし”!

5方とは、「売り手」「買い手」「世間」「社員」「協力業者」のこと。皆がよくなる経営をめざしており、社員が心も身体も健康で生き活きと働くことが、お客様の満足にもつながると考えています。
これからも、社員全員が幸せになれるような職場環境をつくっていきます。



(左) 社内外の連携を図り健康経営に取り組む人事部の吉澤部長 (右) 従業員の皆さんと細やかなコミュニケーションをとりながら健康経営を進めている人事部松原主任。

Q どんな取組みを実施されていますか?

当社は、従業員が能力を最大限発揮できる職場環境づくりを目指しています。それには従業員とのコミュニケーションが重要と考え、入社3カ月面談、メンター制度、自己申告制度、目安箱等を通じて悩み・要望を聞きます。例えば、小学3年生までの育児短時間勤務の延長も要望に応えた一つです。産業医、健診機関の助言も受け、こうした取組みが健康優良企業として認められる結果になりました。



▲階段の踊り場に設置された目安箱

1 産業医との連携

当社では産業医が熱心にかかわってくれており、アドバイスを受けながら従業員の健康管理を行っています。例えば産業医は次のようなことを実施してくれています。

- 朝礼などで従業員全体に向けた健康講話
- 健康診断後、健康リスクが高いと産業医が判断した従業員に対し、オンラインによる個別指導
- ストレスチェックなどでリスクの高い従業員との面談
- 長時間労働者、傷病による休職やリハビリり入社開始前、復職前などの面談

産業医とのオンライン面談の様子▶



2 特定保健指導実施 100%

特定健診の結果、特定保健指導の対象となった従業員に、積極的に特定保健指導を受けてもらう取組みをしています。2020年度は対象者28人全員が特定保健指導を受け、100%を達成しました。

特定保健指導の案内を通知するだけでなく、対象となった従業員のスケジュールとすり合わせながら、保健師に会社に来てもらい、就業時間内で受けられるよう予定を組みました。忙しい従業員の皆さんのスケジュール変更などもあり調整は大変ですが、保健指導の対象者は減少しています。



3 その他の取組み

●階段カロリー表示 (兼感染予防)

「階段を使って脱メタボ」など、階段の使用を促す呼びかけや消費カロリーを階段に表示。感染予防のメッセージも。



最上段まで上れば -4.4kcal 消費。このメッセージに励まされるという従業員の方の声も。

●健康歩幅チャレンジ

筋力が落ちると歩幅も狭くなります。廊下に、身長に合わせた理想的な歩幅がわかる目安を貼り、自分の歩幅を確認できるようにしています。



●ロコモ度チェック

(立ち上がりテスト / 2ステップテスト)

建設現場では高齢の従業員も働いていて、足の衰えは仕事の安全に関わります。そこで、ロコモティブシンドローム予防のため健診会場に脚力チェックコーナーを設け、楽しみながら受けてもらっています。



Q 健康優良企業への取組みをされて変わったことや良かったことを教えてください

「特定保健指導」というと、指導する人から難しいことを言われて厳しく指導されるように思われますが、実際に皆さんに受けていただくと印象がずいぶん変わるようです。ある男性従業員は、特定保健指導で毎日適度な運動をするよう指導され、YouTube でヨガやフィットネスの動画を探して自宅でやり始めたところ、はじめは笑って見ていたお子さんたちも一緒にやり始め、ご家族の皆さんで楽しく健康づくりに取り組んでいるそうです。健康経営を進めることで従業員の健康に対する意識が変わり、周囲の人にも良い影響を与えているようです。